



平成 27 年 11 月 11 日

各 位

会社名 ワ タ ミ 株 式 会 社
(コード番号 7522 東証第一部)
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 清 水 邦 晃
問合せ先 取 締 役 経 営 企 画 本 部 長 小 田 剛 志
(TEL 03-5737-2784)

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異
および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 28 年 3 月期第 2 四半期累計期間の連結業績予想と、本日公表の実績につきまして、下記のとおり差異が生じたのでお知らせいたします。また、平成 27 年 5 月 13 日の決算発表時に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 28 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間連結業績予想と実績値との差異 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 27 年 9 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 27 年 5 月 13 日発表)	71,000	300	△100	△500	△13 円 38 銭
今回発表業績(B)	69,639	△1,416	△2,088	△2,069	△55 円 40 銭
増減額(B - A)	△1,361	△1,716	△1,988	△1,569	—
増減率(%)	△1.9	—	—	—	—
<ご参考>前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月期第 2 四半期)	77,701	△1,039	△1,744	△4,114	△110 円 19 銭

2. 平成 28 年 3 月期通期連結業績予想の修正 (平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1 株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A) (平成 27 年 5 月 13 日発表)	148,800	1,300	500	1,000	26 円 77 銭
今回修正予想(B)	127,000	0	△800	13,000	348 円 10 銭
増減額(B - A)	△21,800	△1,300	△1,300	+12,000	—
増減率(%)	△14.6	—	—	+1,300	—
<ご参考>前期実績 (平成 27 年 3 月期)	155,310	△2,072	△3,406	△12,857	△344 円 31 銭

【修正の理由】

当社グループは、前連結会計年度において、12,857百万円の親会社株主に帰属する当期純損失を計上したことから純資産額が10,007百万円となりました。特に国内外食事業は、二期連続の営業赤字となっており、今後のグループ再建のため、立て直しが急務となっております。店舗の収益性の改善を図るため、85店舗の不採算店舗の撤退を引き続き進めており、当第2四半期連結会計期間末においては54店舗の不採算店舗の撤退が完了しました。また、コスト削減額3,500百万円を目標とした黒字化に向けた改善計画を策定し、販売促進方法の見直し、店舗配送方法の見直しなど、収益構造の改善を図るべく、体制の構築に取り組んでおります。しかしながら、当第2四半期連結累計期間においては、国内外食事業の既存店売上高前年比が前年に実施した販促活動の反動や2015年1月より本格的に導入した定休日の影響もあり91.6%と前年水準を大きく下回ったこと、宅食事業の9月最終週における調理済み商品お届け数が競合環境の激化により261千食と前年水準に届かなかったこと、および介護施設の既存棟入居率が77.9%と80%を下回る水準で推移したこと等により、売上高が計画を下回る結果となりました。また、宅食事業における販促活動を当初計画を上回る形で上期に集中して実施したこと等もあり、利益計画を大きく下回る結果となりました。

これらのことから、平成28年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異が発生しております。

通期の業績につきましては、外食事業・宅食事業共に前年および当初計画を下回る水準で推移する事が予想されます。外食事業は下期の既存店売上高前年比を直近の売上推移を踏まえ95.0%を見込んでおります。また、宅食事業においては直近の配食数の動向を踏まえ、下期の販促活動を当初計画より抑制する形で、食数減を前提に利益確保に努める計画を組んでおります。

また、平成27年12月1日に連結子会社であるワタミの介護株式会社の全株式を損保ジャパン日本興亜ホールディングス株式会社へ譲渡することにより、介護事業からの撤退を決定しており、当該売却により、株式売却益の計上を見込んでおります。また、ワタミの介護株式会社は平成27年12月1日以降、当社グループから連結除外となるため、通期の売上高、営業利益、経常利益、当期純利益が当初の見込みから大きく変更となります。これにより、のれん償却の計上をはじめとした、ワタミの介護株式会社が連結対象であった期間に必要な決算手続きが不要となり、売上高・営業利益は減少、経常利益・当期純利益は増加の影響をそれぞれ受けるものです。

これらのことを踏まえ、通期連結業績予想の修正を行うものであります。

(注) 本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は、さまざまな重要な要素により、本資料の記述とは異なる結果となる可能性があります。

以 上